

令和2年度

運営に関する

計画・自己評価

最終評価

大阪市立歌島中学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題として、“規範意識の育成”“生徒の学力の向上”“教員の授業力の向上”が、あげられる。ここ数年来続いた「荒れ」の兆候は一定の落ち着きを見せるものの、手放しで安堵できる状態ではない。しかし、生徒総体としては、勉学・運動・行事に集中し、落ち着いた教育活動が展開されることとなり、令和 2 年度もより質の高い教育を実践していく。

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力運動習慣調査をはじめとする各種調査及び学校評価アンケート（対象：生徒・保護者・職員）の結果分析を踏まえて教育活動を進めている。各種調査・アンケートの数値は、好ましい方向に表れているが、視点ごとに設定した数値目標は必ずしも達成できているわけではない。とりわけ、“生徒の学力の向上”に関しては、家庭における自学自習態度の未定着や、自己有用感の低さ等、複合的な多くの課題を抱えており、今後の取り組みが重要である。

また、“教員の授業力の向上”について、生徒の興味・関心を引きだす「魅力ある授業」の展開が喫緊の課題であり、抜本的な教員の意識改革が必要である。そのため、ICT 機器活用プロジェクトチームを編成し、工夫と研修を重ね、教員の ICT 指導力を高めている。さらに、生徒の学びが主体的になるよう、ICT 機器を活用したり、習熟度別の学習形態をとったりしながら、生徒に「魅力ある授業」を提供できる授業体系を構築し、基礎学力の定着とともに、「わかる喜び」「できる楽しさ」を体感させ、「自ら学ぶ力」を獲得させる指導に取り組む。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○規範意識を育て、笑顔あふれる学校をつくる。

- ・学校評価アンケートにおける「楽しく学校に通っている」「しっかりと挨拶をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 90% 以上にする。
- ・学校評価アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 98% 以上にする。
- ・学校評価アンケートにおける「先生は、暴力やいじめを許さない」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 95% 以上にする。

○自主的活動を応援し、自立に必要な力をつける。

- ・学校評価アンケートにおける「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 85% 以上にする。
- ・学校評価アンケートにおける「先生は、わたしのよいところを認めてくれる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80% 以上にする。

○キャリア教育を推進し、生徒の自己有用感を育む。

- ・学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80% 以上にする。

- ・全国学力・学習状況調査における「わたしは、人の役に立つ人間になりたい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。
- ・全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を75%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○学力を高めるため、魅力ある授業を提供する。

- ・学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、授業はわかりやすい。と言っている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を60%以上にする。
- ・学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を75%以上にする。
- ・学校評価アンケートにおける「勉強でわからないことについて先生に質問しやすい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を75%以上にする。

○家庭学習の習慣を図り、学力を定着させる。

- ・学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を60%以上にする。
- ・学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を60%以上にする。
- ・学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を70%以上にする。

○全国体力・運動能力、運動習慣調査で、男女ともすべての種目において、全国平均を上回る。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

1. 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
2. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。
3. 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
4. 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

1. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「楽しく学校に通っている」「しっかりと挨拶をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を87%以上にする。
2. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を82%以上にする。
3. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、わたしのよいところを認めてくれる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を82%以上にする。

4. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、いろいろな相談にのってくれると思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を81%以上にする。
5. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、暴力やいじめを許さない」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。
6. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。
7. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、人の役に立つ人間になりたい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。
8. 令和2年度全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を70%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

1. 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
2. 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が、府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
3. 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が、府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
4. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。
5. 令和2年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス5回を目標とする。

学校園の年度目標

1. 令和2年度の学校評価アンケート(保護者)における「子どもは、授業はわかりやすい。と言っている」と答える保護者の割合を55%以上に向上させる。
2. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」と答える生徒の割合を80%以上にする。
3. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」と答える生徒の割合を40%以上にする。
4. 令和2年度の学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を45%以上にする。
5. 令和2年度の日本漢字能力検定における、中学3年生の5級以上取得割合を50%以上とする。また同年度の英語能力判定テスト(英検 IBA)における学年相当級取得割合を大阪市のそれと比較し、-10 ポイント以内にする。
6. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。
7. 令和2年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス5回を目標とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力運動習慣等調査をはじめとする各種調査及び学校評価アンケート（生徒・保護者に学校独自実施）における調査結果の分析を踏まえて、教育活動を進めている。各種調査・アンケートの結果は包括的に見て好ましい方向に向かっており、生徒の学校での様子からも、日々勉学・運動・行事に集中し、落ち着いた教育活動が展開されている。しかし視点ごとに設定した数値目標は必ずしも達成できているわけではなく、とりわけ自己肯定感や自己有用感の弱い生徒が多く、主体性の乏しい生徒が増加傾向にある。そこで、生徒の興味・関心を引き出し『わかる喜び』『できる楽しさ』といった成功体験を積み重ねることで、個に応じた基礎・基本的学力の定着とともに“主体的な学び”を獲得させるよう努めた。

具体的には、ICT 機器活用プロジェクトチームによるデジタル学習教材の模索と教員への活用啓発を行い、教員の ICT 指導力を高めることで学力の向上を効果的に実現させようと努めた。

さらに、モジュールの時間を利用し、全学年で本校独自に作成する自主教材を使用した、漢字・基礎計算・英単語等の反復学習を行わせている。学習成果の確認・発表の場面として、2 年次に「漢字検定」受検、希望者対象に年に 3 回「英検」受検、各学年「英単語 100 間コンテスト」等の行事を設定し、成功体験を積み重ね自尊感情を刺激しながら“主体的な学び”を育んでいる。

毎日実施の「まなビスタ」への参加生徒も増加し、主体的な学びの姿勢が育ちつつある。

大阪市立歌島中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標（小・中学校）	
1. 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。 【 100% 】	
2. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。 【 96.8% 】	
3. 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 【 R1 5人 ⇒ R2 0人 】	
4. 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 【 R1 6.2% ⇒ R2 4.8% 】	
学校園の年度目標	A
1. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「楽しく学校に通っている」「しっかりと挨拶をしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を87%以上にする。 【 88.6% 】	
2. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「生徒会活動や委員会・係活動に積極的に取り組んでいる」「体育大会や文化発表会など色々な行事に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を82%以上にする。 【 83.6% 】	
3. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、わたしのよいところを認めてくれる」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を82%以上にする。 【 86.6% 】	
4. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、いろいろな相談にのってくれると思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を81%以上にする。 【 86.0% 】	
5. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、暴力やいじめを許さない」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。 【 97.9% 】	
6. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。 【 68.4% 】	
7. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、人の役に立つ人間になりたい」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を90%以上にする。 【 92.3% 】	
8. 令和2年度全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていませんか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を70%以上にする。	
※未実施のためR2学校評価アンケートにおける同質問	【 78.3% 】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ルールや規則を守らせる。 <ul style="list-style-type: none"> 登校指導強化週間を利用し、服装や時間を守らせ、遅刻を減らす。 	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。 【96.8%】 	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 授業や時間の大切さを認識させる。 <ul style="list-style-type: none"> 月に一度「ノーチャイムデー」を設け、生徒の自律を促す。 	C
指標 <ul style="list-style-type: none"> ノーチャイムデー実施日における授業遅刻者を1%以下にする。 【未実施】 	
取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 いじめゼロを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員を中心に、全校生徒による「いじめ撲滅運動」を実施し『いじめゼロ』を目指す。 	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を96%以上にする。 【96.9%】 	
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 TP0をわきまえることのできる生徒を育む。 <ul style="list-style-type: none"> 場面に応じた正しい言葉使いで会話し、元気よくあいさつができるように指導する。 	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートにおける「わたしは、しっかりとあいさつをしている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を87%以上にする。 【89.3%】 	
取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 生徒を褒めて育てる。 <ul style="list-style-type: none"> いいとこ見つけを活用し、一人ひとりの生徒に向き合い理解に努める。 	C
指標 <ul style="list-style-type: none"> SKIP「いいとこみつけ」書き込み件数を年間801件以上とする。 【593件】 	
取組内容⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】 校内外の美化活動を活性化する。クリーンアップ大作戦を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 校内はもちろんのこと、学校周辺において学期に1度の「クリーンアップ大作戦」(美化活動)を行う。 	C
指標 <ul style="list-style-type: none"> 各学年学期に1回、合計9回のクリーンアップ大作戦の実施の可否を評価する。 【未実施】 	
取組内容⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校行事を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に取り組める学校行事を推進し、全員に達成感や成功体験を味わわせ、自己有用感を育む。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートにおける「わたしには、よいところがある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 65%以上にする。 【 68.4% 】 	B				
<p>取組内容⑧【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>3年間を見据えた系統的なキャリア教育を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次 「夢授業、仕事とは」、2年次 職場体験・職業講話、3年次 「夢授業、自らを信じ」等の多様な体験活動を通して、豊かな心の向上を図り、自己有用感を育む。 	A				
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたい」「私には夢がある」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合をそれぞれ 75%以上にする。 <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">「人の役に立つ人間になりたい」</td> <td style="width: 50%;">【 92.3% 】</td> </tr> <tr> <td>「私には夢や目標がある」</td> <td>【 78.3% 】</td> </tr> </table>	「人の役に立つ人間になりたい」	【 92.3% 】	「私には夢や目標がある」	【 78.3% 】	A
「人の役に立つ人間になりたい」	【 92.3% 】				
「私には夢や目標がある」	【 78.3% 】				
<p>取組内容⑨【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>図書館を活性化させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が本に親しんだり、学習したりする環境を整えるために、学校元気アップ地域本部事業の活用や、地域学生ボランティアの力を借り、図書館を毎日開館する。 ・部活動休養日の生徒の居場所の役目を担う。 	A				
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館への来館者を前年度と比較して2倍増とする。 <p>※新築工事のためR2 7月から図書館を開館した。 【 7月～2月 3867人 】</p>					
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な学びを育む場として期待された「うたじまラーニングコモンズ」が開館し、ほぼ毎日「まなビ스타」が実施された。 【 7月～2月末 1465人参加】 ・授業規律等については、生徒会を中心とした生徒の主体性に問いかける指導法を重視した。おおむね想定通りの結果であった。 【ベル着・遅刻者数減少等】 ・今年度は、新型コロナウィルス感染症の影響のため、3年間を見据えた系統的なキャリア教育がまったく実施できなかった。しかし「校内の美化活動の活性化」においては顕著な成果が見られた。 					
<p>次年度への改善点</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今年度の取り組みを次年度も継承し、拡大充実させていくよう考えている。とりわけ「うたじまラーニングコモンズ」の実施については最重要課題としてとらえ、「まなビ스타」への教職員の配置や稼働については工夫を凝らしていく。 ・I C T 機器活用プロジェクトチームが中心となり、生徒ひとり1台のパソコンを使用しての各種調査の調査方法や集計分析結果の活用方法を十分協議する必要がある。また、それらを教職員に周知させ、効率の良いパソコン使用方法を学ぶ必要がある。 ・生徒の自己有用感を育むため「褒めて育てる」ことの重要性を教職員に啓発した結果、SKIP の「いいとこみつけ」書き込み件数はほぼ目標値に達した。しかし書き込みは、特定の教職員に因るところ大きく、底辺の底上げが来年度への課題として残った。 ・新型コロナウィルス感染症の影響は来年度も受けと想定され、外部のゲストティーチャーを招聘する「職業講話」や生徒が職場に出向く「職場体験」等の実施の可否については未定となるであろう。また「まなビ스타」実施についても、確実な感染拡大防止対策を講じての実施になることを教職員のみならず生徒にも十分周知する必要がある。 					

(様式2)

大阪市立歌島中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標				達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】				
全市共通目標（小・中学校）				
1.	令和2年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。			
	学 年	教科数	H30 年度	R1 年度
	現3年生	3教科	0. 91	0. 91
		5教科		0. 94
	現2年生	3教科		0. 94
		5教科		0. 91
	現1年生	3教科		1. 01
2.	令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が、府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。			
	学 年	H30 年度	R1 年度	R2 年度
	現3年生	29. 1	30. 3	未実施
	現2年生		23. 9	33. 7
	現1年生			9. 8の増加
3.	令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が、府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。			
	学 年	H30 年度	R1 年度	R2 年度
	現3年生	23. 8	28. 6	未実施
	現2年生		22. 7	25. 1
	現1年生			2. 4の増加
4.	令和2年度の学校評価アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。			
	【 R1 79% ⇒ R2 81. 4% 】			
5.	令和2年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス5回を目標とする。			
		R2年度1学期	R2年度3学期	ポイントの増減
	男 子	78. 55	81. 54	2. 9
	女 子	54. 3	51. 67	-2. 63

B

学校園の年度目標

1. 令和2年度の学校評価アンケート(保護者)における「子どもは、授業はわかりやすい。と言っている」と答える保護者の割合を 55%以上に向上させる。
【 60.3% 】
2. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 【 88.3% 】
3. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、家で授業の復習や予習をしている」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 【 43.8% 】
4. 令和2年度の学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 45%以上にする。 【 44.4% 】
5. 令和2年度の日本漢字能力検定における、中学3年生の5級以上取得割合を 50%以上とする。また同年度の英語能力判定テスト(英検 IBA)における学年相当級取得割合を大阪市のそれと比較し、-10 ポイント以内にする。 【 未実施 】
6. 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 65%以上にする。
【 62.9% 】
7. 令和2年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス5回を目標とする。 【 0.14回 】

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 生徒の自学自習の態度や習慣を育む。 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館において「放課後学習会」を毎日実施する。生徒一人ひとりの個に応じた学習場所としての活用を促し、学力の向上を目指す。 	B
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、毎日「放課後学習会」を実施する。 【OK】 ・学校評価アンケート（保護者）における「子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている」の項目について、肯定的な回答をする保護者の割合を 45%以上にする。 【 44.4% 】 	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学力を向上させるため、ICT機器活用授業を活性化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器活用プロジェクトチームが中心となり、授業でICT機器を活用する教員を増やす。 	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業を行う教員の割合を 80%以上にする。 【 86% 】 ・学校評価アンケートにおける「先生は、授業が分かりやすいように指導方法を工夫している」に肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にする。 【 88.3% 】 	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 漢検を通して成功体験を重ね、自己有用感を育む。 <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見据えた系統的な漢字教育を行い、3年次において日本漢字能力検定を受検させる。 ・図書館に漢検受検に関するコーナーを設置し、気軽に生徒が閲覧・貸出できる環境を整える。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度漢検における、3年生の5級以上取得割合を50%以上にする。【未実施】 	C
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 図書館を活性化させ、総合的な学習の場「うたじまラーニングコモンズ」とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館を読書する場のみならず、授業でも活用できる総合学習室に位置づけ、各教科や学級活動等で活用することを目指す。 50分の授業において、一人学習、ペア学習、グループ学習、一斉授業等、授業形態を簡単に変えながら、多様な学びが展開できるよう動かしやすい机やイスを整備する。 生徒が主体的に学習に向き合えるよう、漢検や英検、また高校受験に関するコーナーを設置し、気軽に生徒が閲覧・学習できる環境を整える。 放課後学習会「まなビスタ」を実施し、生徒の主体的な学びを育む。 利用したくなるような図書館の環境整備を行い、図書館を毎日開館し、生徒が本に親しめるよう促進する。 図書館の廊下側の掲示板を利用し、学力向上や文化部作品等の情報発信を行う。 	C
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 国、数、理、英の授業において、図書館の利用回数を年間200回超とする。 【73回】 令和2年度の学校評価アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 【81.4%】 図書館を利用する生徒数と貸出冊数を前年度と比較し2倍増とする。 ※7月から2月末 利用生徒数【3522人】 貸出冊数【378冊】 令和2年度の学校評価アンケートにおける「わたしは、本を読むことが好きだ」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を65%以上にする。 【62.9%】 	
<p>取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 使える英語力を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語テストや英単語100問コンテスト等の実施により、英語に興味を持たせる。 図書館に英検受検に関するコーナーを設置し、気軽に生徒が閲覧・貸出できる環境を整える。また、英検受検に際し、学校を準会場とし、生徒が受検しやすい環境を作る。 英語力を高めるため、小テストによる「スマールアップ学習」を実施する。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年2学期末に行う教科アンケートで「英語の授業が楽しい」「英語が好きである」に肯定的な回答をする生徒の割合を50%にする。 【78.5%】 英検IBAにおける学年相当級取得割合を大阪市のそれと比較し、-10ポイント以内にする。 【未実施】 	
<p>取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 全身持久力の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健体育の授業において、持久力向上運動の充実を図り、全身持久力の育成に努める。 	C
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の20mシャトルランにおいて、男女とも1学期と3学期の授業中に計測し、その平均比較でプラス5回を目標とする。 【0.14回アップ】 	

取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

健康の保持増進に努める。

- ・「ほけんだより」「食育通信」を毎月発行し、生徒や保護者の健康管理について啓発する。

指標

- ・「ほけんだより」毎月1回、「食育通信」年間10回発行する。

B

【「ほけんだより」13回発行】【「食育通信」10回発行】

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ・各種取組みの目標値は概ね達成している。しかし、それが「学力向上」に結びついていない現状がある。やはり生徒の主体的な学びの姿勢が育っていないことが要因であると考えられる。今後は、今年度の取組みを拡大継承させ、生徒の主体的な姿勢の獲得と定着を図らなければならない。

次年度への改善点

- ・本校では、『学力の向上と自律に必要な力の育成』を教育目標として「豊かな心と未来を切りひらく力を備えた生徒」の育成を目指している。具体的には、主体的に学ぶことから「わかる喜び」と「できる楽しさ」を実感させるとともに、グループ活動の中では、自他を尊重し多様性を認め合いながら「豊かな心」を育んでいる。この教育実践を通して「自ら考え、判断し決定し、行動する。」生徒の育成に尽力している。今後、生徒会活動をさらに活性化させるとともに、生徒の自主的な学びを育むため、ひとり1台のパソコンの使用方法を各教科で十分協議する必要がある。またパソコンの持ち帰りを想定して家庭学習のあり方についても要協議である。